

了り各部隊対峙ありし戰鬥團命令今ヲ下達ス

其ノ七 自六月十九日 至六月二十三日

早朝福地伊禮伊原附近高地一帶亘り激戦ハ展開ス  
レ同地ニ在リシ部隊一部因テ隊其他ハ全滅的損傷蒙リ  
正午頃部隊不部ノ位置後退セリ正午頃より敵ハ各方面  
リ戦場地向ニ攻撃手ノ同地帯ハ全ク紛戦状態ニ入リ

戦車数輛ヲ伴フ敵ハ喜屋武方向ヨリ海岸方面ヲ迂回シ山城  
陣地ノ後方ニ進攻セシ為腹背ヨリ挾撃セテ死傷續出セリ  
當時編合部隊ハ所持兵器下ノ總員一〇〇名中少銃ヲ所持  
ス者僅クニ五〇名ニ過ぎス全ク敵ノ蹂躪ニ委スル他ナキ状態  
トナレリ

前日末ノ戰鬥ハ續行セラレ我カ陣地ハ全滅域ニ亘リ密草地带油  
脂票後大指放射ヲ以テ燒却セラレリ 為ニ燒死ス者其ノ數  
ヲ知ラズ状態ナリ

我カ陣地ハ全般ニ亘リ殆ト破壊攻撃セラレ兵器又全滅域ニ亘リ  
統制下戰鬥ハ此處ニ終末ヲ告クルニ至リ

自今以來師團司令部ノ連絡杜絶シ主力方面ノ戦況亦不  
不明ノ状態ニ在リテ昨夜生存者半部ヲ數組斬込隊ニ  
編成シ敵陣ヲ突破シテ師司令部ノ連絡ヲ當ラシム  
畫間望見ス所依リハ摩文仁方面ハ戦況混鈍トシテ眞收判  
明ナラズ敵ノ砲撃激烈ニテ尚不敢斗中ナルノ如シ  
昨夜出發セシ各斬込隊ハ名生還ス者十ノ司令部方面状況全  
ク不明ナリ 敵ノ當部隊不部ノ攻撃ハ朝来中止セラレ各研

近一帶より環状攻撃益あり

部隊八師團司令部方面ノ状況ヲ探査シ之ニ合シテ回ルト共ニ所存者ヲ集結シテ計画的遊撃戦ヲ行ハルニシテ敵ニ出陣強要ヲ奉ル使用自由ヲ撤束スル決シ残余ノ生存者ヲテ無謀ノ斬込ヲ戒

シテ遊撃戦ノ準備ニ着手ス  
山崎附近ニ於テハ戦斗經過附回ヲ十三ノ如シ

其ノ八 自一九四三年四月  
至一九四三年三月

帝軍本土防備ノ義務名沖繩本島ハ遂ニ戦ニ利有ラスシテ統帥的戦斗ハ一昨三日前ヲ以テ終末ヲ告テ悲愴ノ感極マリシ生存者一決敵陣ニ突入シテ屍ヲ晒スハ男子ノ本懐トシテ所ニ反顧シテ帝軍ノ前途ニ想ヲ致ス時敵ヲシテ本島ヲ基地化シ自由ニ使用セラルル

ニス洞窟陣地ノ特質戰場各所ニ尚木多数ノ生存者散在シテハ必ズナリ遂次ホメラテ之ト連繫シ計画的遊撃戦ヲ以テ敵軍出陣強要ニ使用ノ自由ヲ束縛スルニシテ本島放棄ノ上ニキマシラシムルニ得ハ今日ノ汚名ヲ雪キテ猶ホ餘リテ下ヲ滑沈スル生存者ノ意氣ヲ昂揚シ糧糧秣及兵器資材ノ蒐集ニ着手スルト共ニ戰場生存者ノ状況並ニ敵情偵知ヲ開始セリ

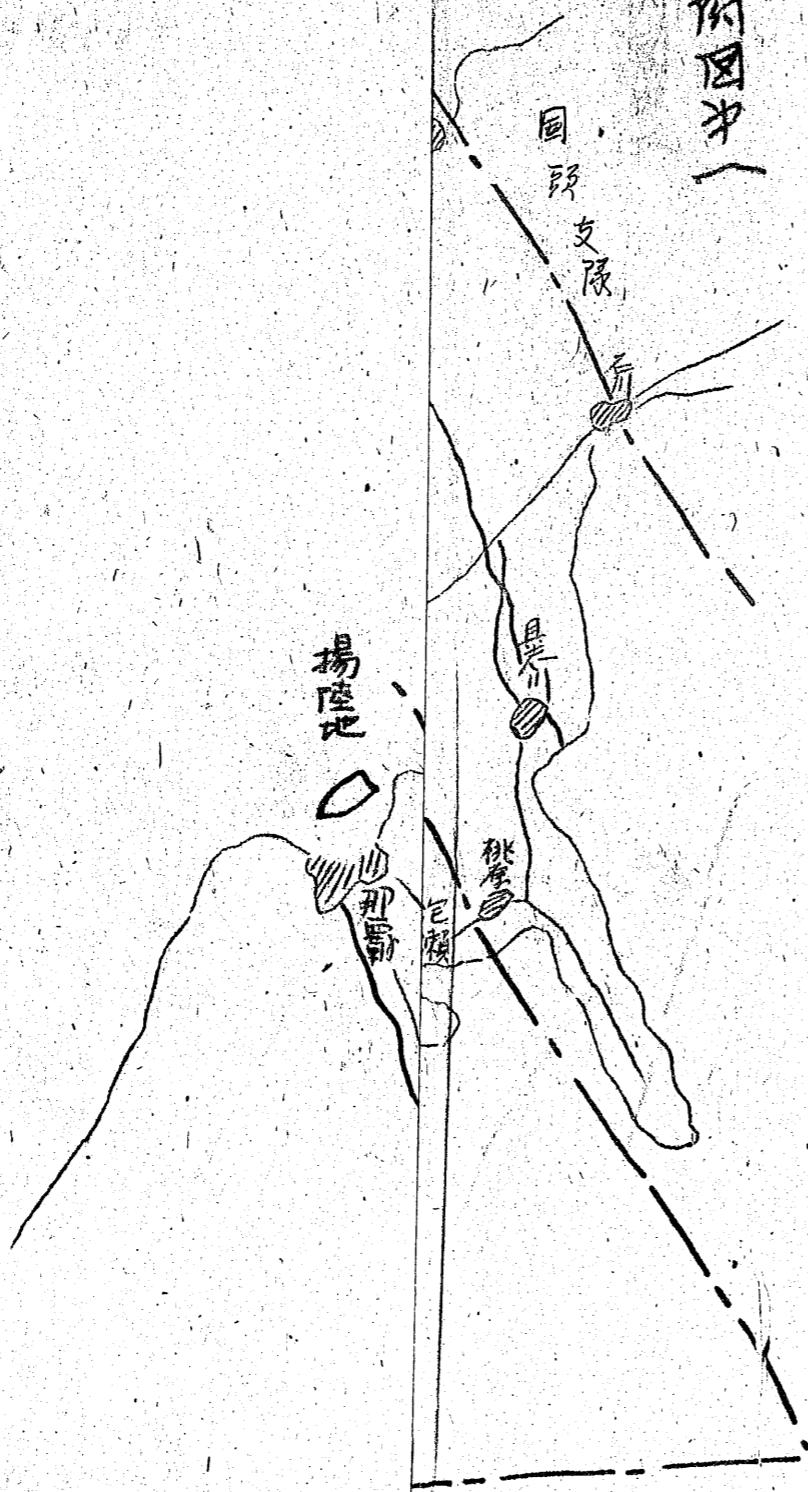
七ヶ米ニ至リ概テ首尾以南ノ地ニ於テハ敵情並ニ反軍生存者ノ位置等ノ概要ヲ嘉手納石川附近ニ敵手ニ届ル交軍收容所アルヲ探知スルニ得タリ

八月初旬ヨリ先ヅ敵ノ通信機関ノ破壊交通妨害ヲ部隊ノ奇襲等ヲ計画シ之ヲ実行ニ着手セシカハ八月十五日夜敵陣内ニ突テ帝軍降伏ノ情ヲ知り悲想ノ内ニ戦斗行動ヲ中止シ居テ大



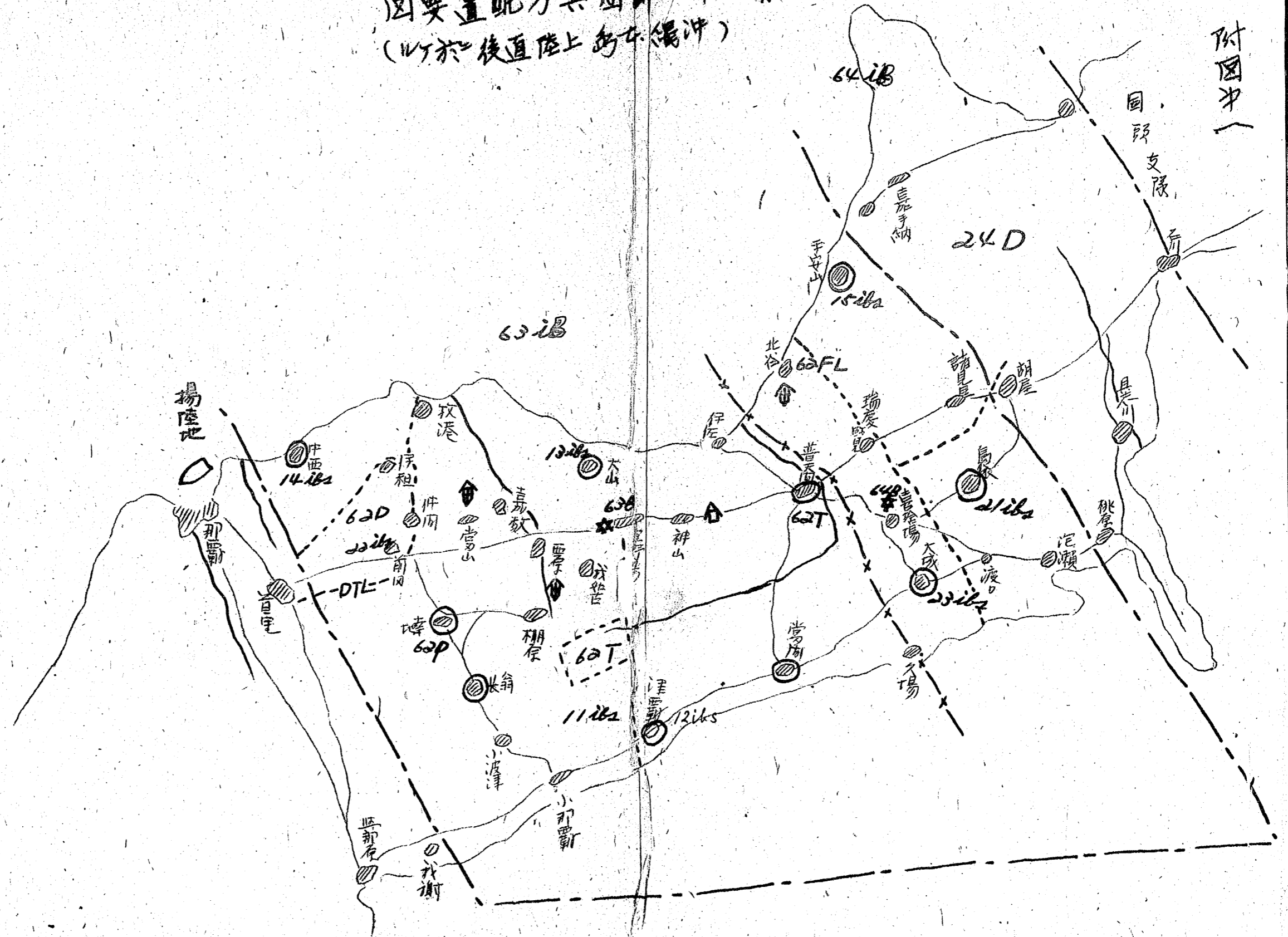
城を三轉シテ專ラ確証把握ニ努ム  
 九月二日正午頃東京湾内ヨリ一艦上ニ於テ制式調印終了  
 ノ報ヲ敵側ヨリテホニ依リ聴取シ次テ當陣地ニ来レル敵側將  
 校ト協定シテ此ノ派ヲ悉クテ武装ヲ解除シ下士官以下八回ハ  
 收容所ニ至ラシメ將校ハ予メ共ニ翌三日當テリ戦場ヨリ沖渡  
 平島南岸部各陣地ヲ巡回シ戦死者ノ實ニ再言別ニ誌  
 々同日夕刻屋嘉收容所ニ入り  
 本戦斗ニ於テ語り傳フヘキ重要事項ハ枚挙ニ暇アラザルモ  
 今々細密ナル真相ヲ記述スルノ要ナカルコト

附圖中一

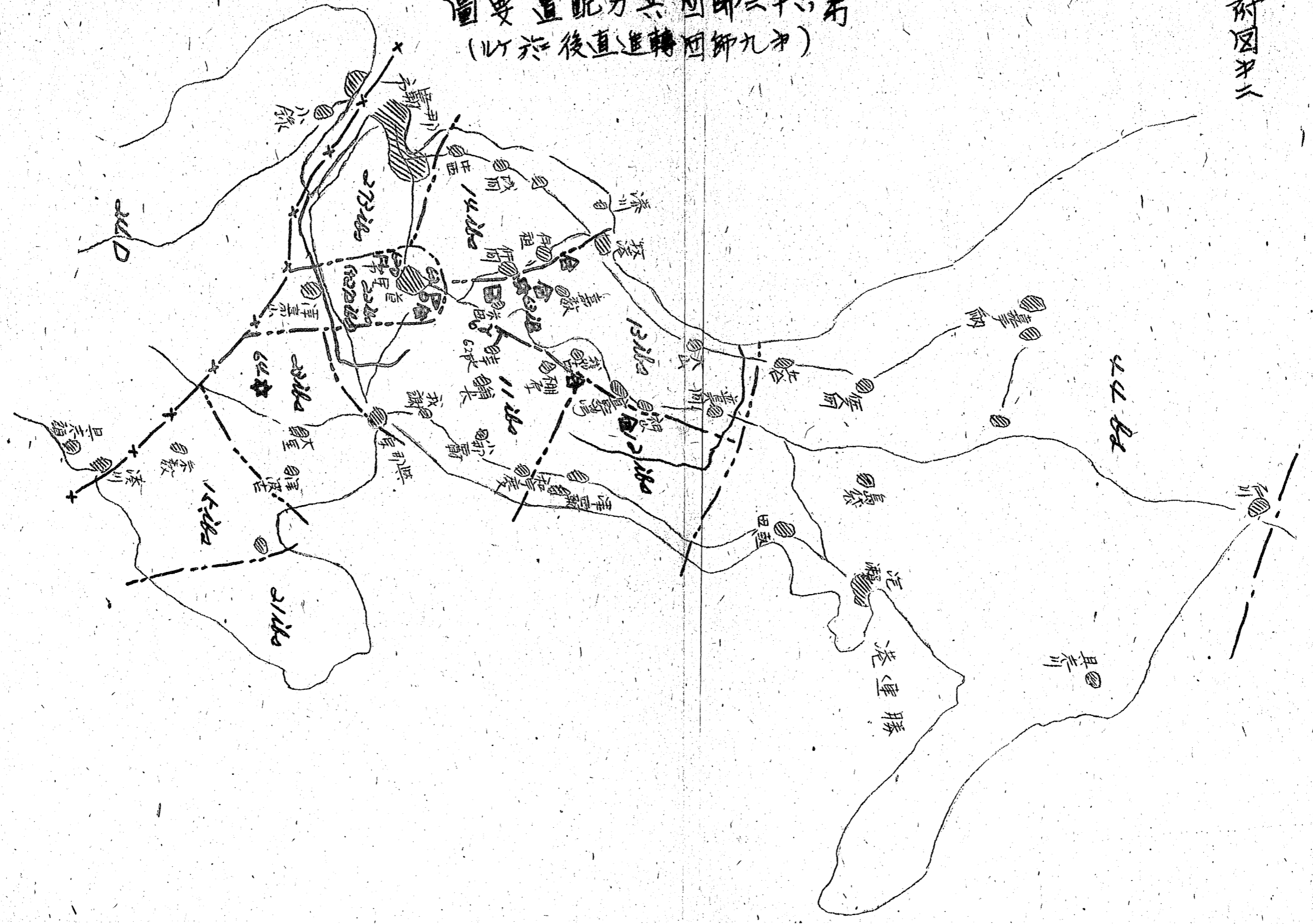


圖要置配力兵團師二十六第  
(以於後直陸上島女編沖)

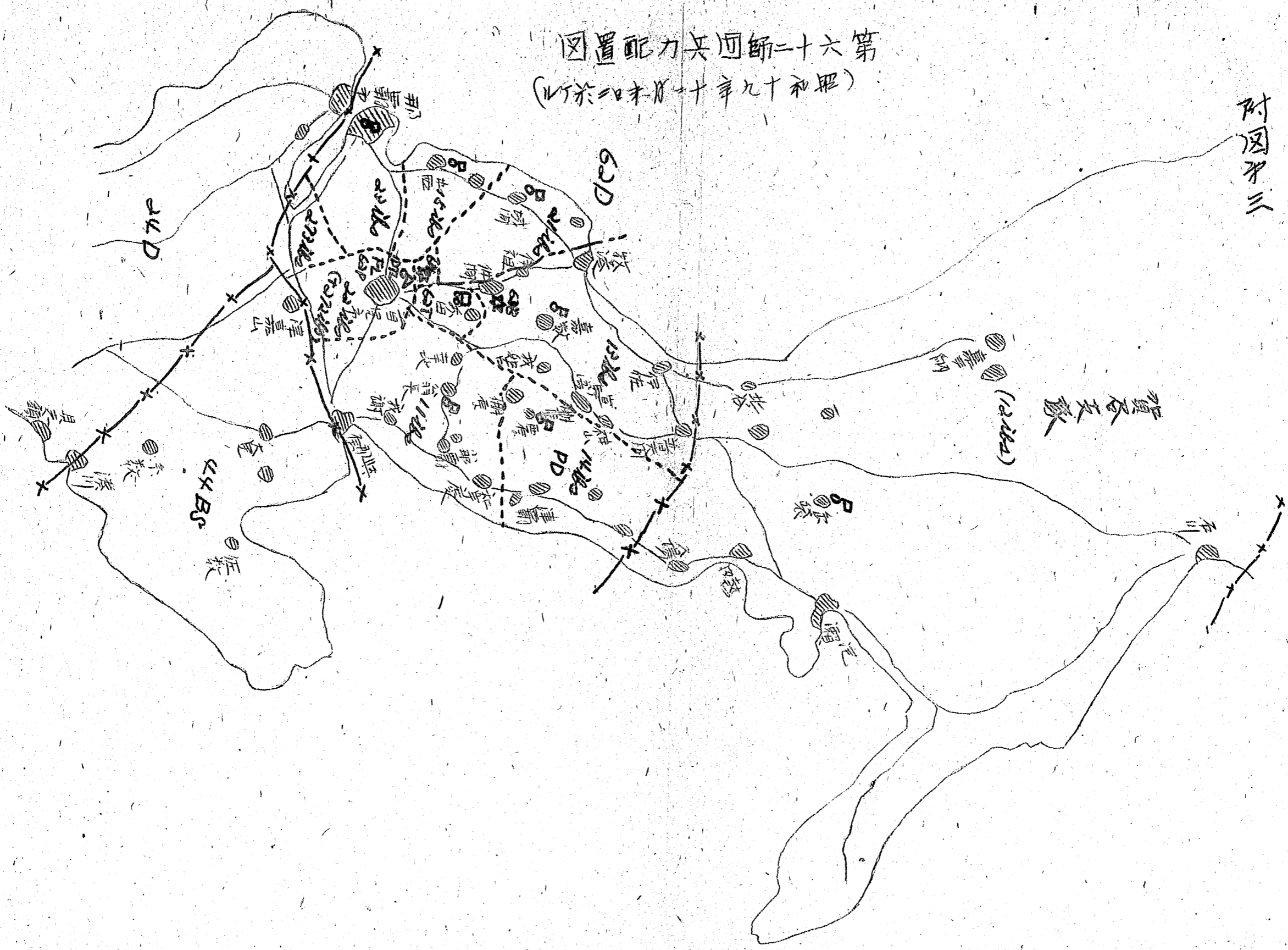
附圖中



圖要置配力兵團師二十六第  
(以於後直進轉回師九第)



第六十二師回兵配力置圖  
(昭和十九年十月二十二日)



附圖三

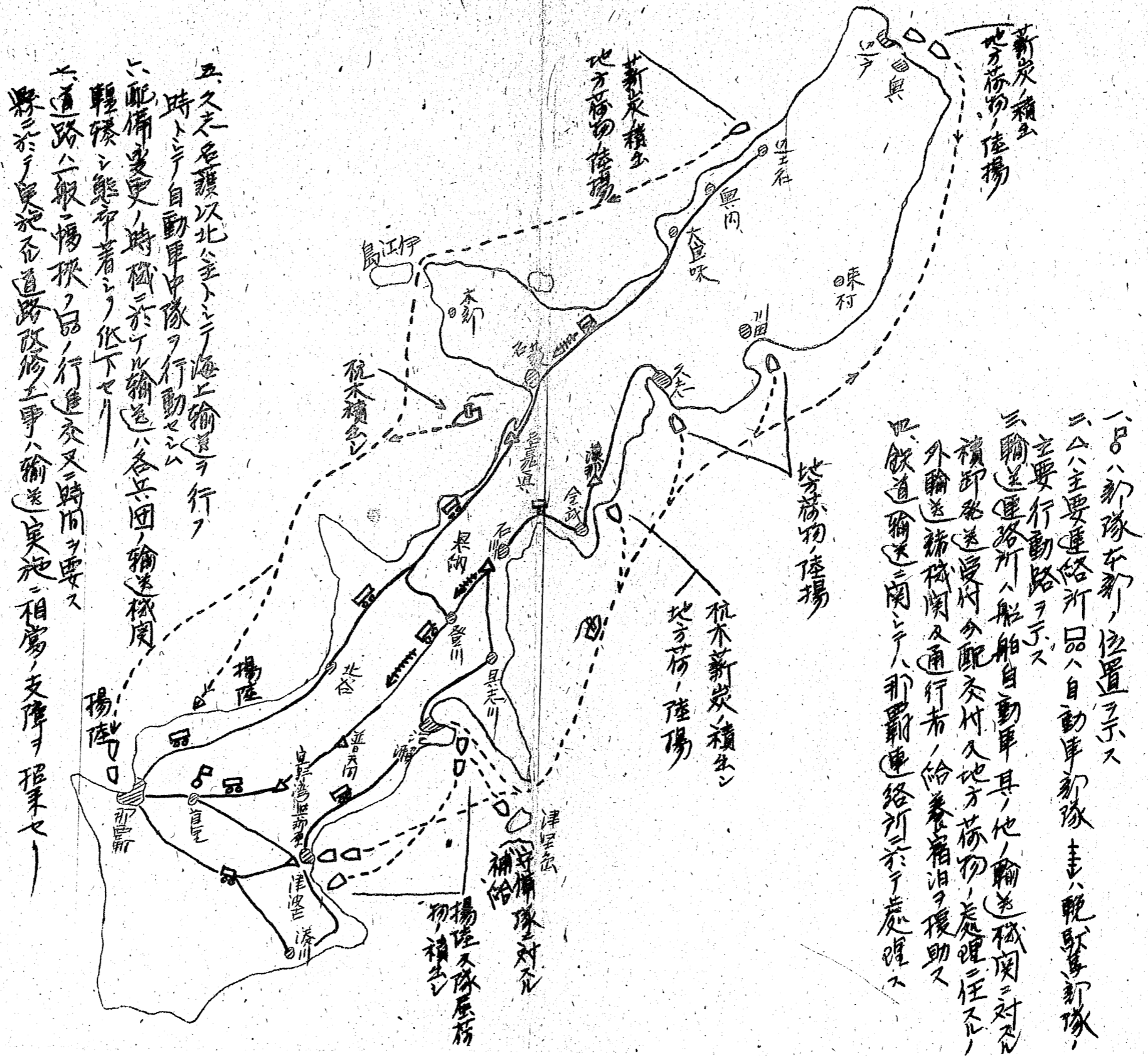


地圖



圖要城地動行送輸隊重務團師二十六第

附圖四



一、師団部隊本部、位置を示す  
 二、本主要連絡所、自働車部隊、重機部隊、  
 主要行動路を示す  
 三、輸送連絡所、船舶自働車、他、輸送機関、  
 積卸、送受付、分配、交付、及地方務物、處理、任、  
 外輸送、積卸、及通行者、給養、宿泊、援助、  
 四、鉄道輸送、関、入、邦、輸送、連絡、所、示、す

五、久之志名嶺以北、主に、海上輸送、行、  
 時、自働車、中、隊、行、動、之、  
 六、配備、變更、時、概、ニ、於、テ、輸、送、各、兵、団、輸、送、機、関、  
 輕、便、之、態、中、著、シ、ク、低、下、セ、  
 七、道路、之、般、之、揚、扱、之、日、行、進、交、又、時、間、ヲ、要、ス  
 八、線、之、於、テ、運、送、之、道、路、改、修、工、事、之、輸、送、実、施、之、相、當、支、障、ヲ、招、来、セ、

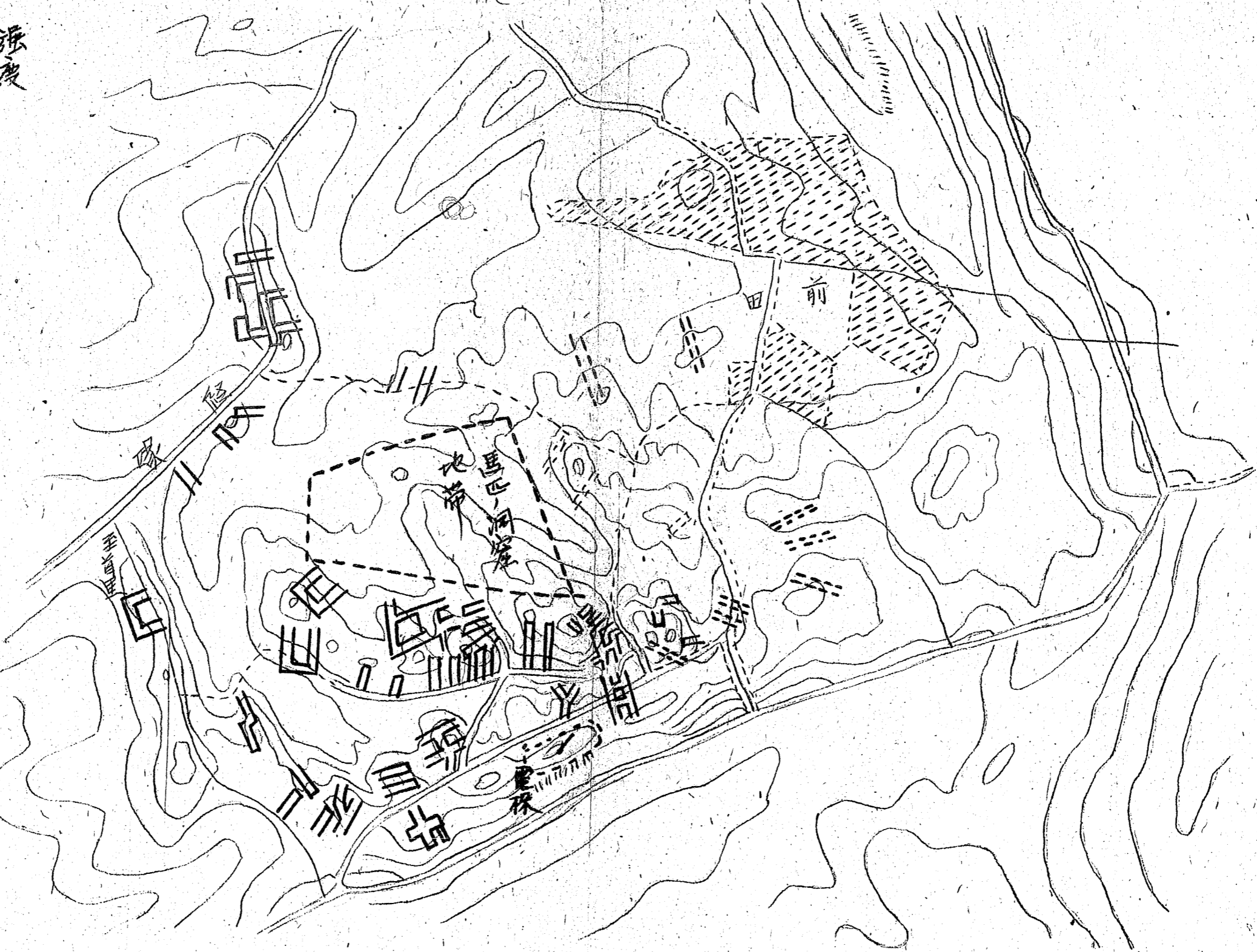
新潟川



第二十六部 輕重部隊附近 陣地配備要圖

(比例尺 = 1:50,000 三月十二日 90年)

附圖第五



強度

一、自動軍用洞窟ハ三五米—四五米深ナ概テ七〇—八〇米ニテ貨物ヲ滿載ス自動軍用洞窟ヲ  
 完全ニ掩護シ得ルモノトス又馬田洞窟ハ概テ一ニ類家ヲ築キスルモノトシ自動軍用洞窟ハ  
 自動軍用洞窟ニ似テテ運搬ノ器具ヲ内貯シ底面ニテ石塊下ニ在リテ又自由ニ自  
 動軍用洞窟ヲ築キ得ルモノトス  
 二、洞窟ノ内ニテ完全ニ格納スル如ク又  
 被服庫糧秣庫彈藥庫等總テ地下洞窟トス

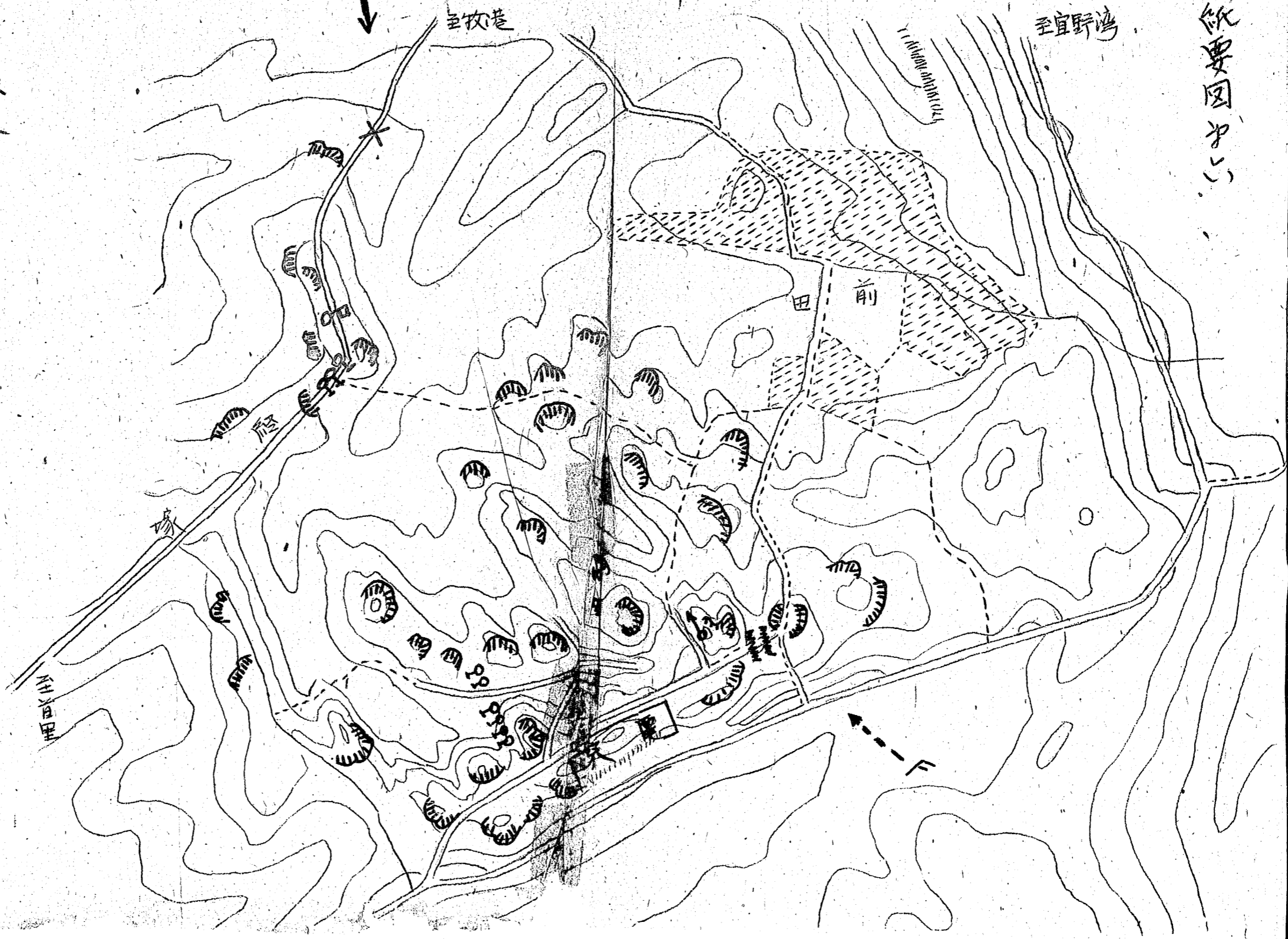
地形

地形



别欲要图(六)

图要備配地陣陽務団部二十第  
(ルテ於日三十月三年十和昭)

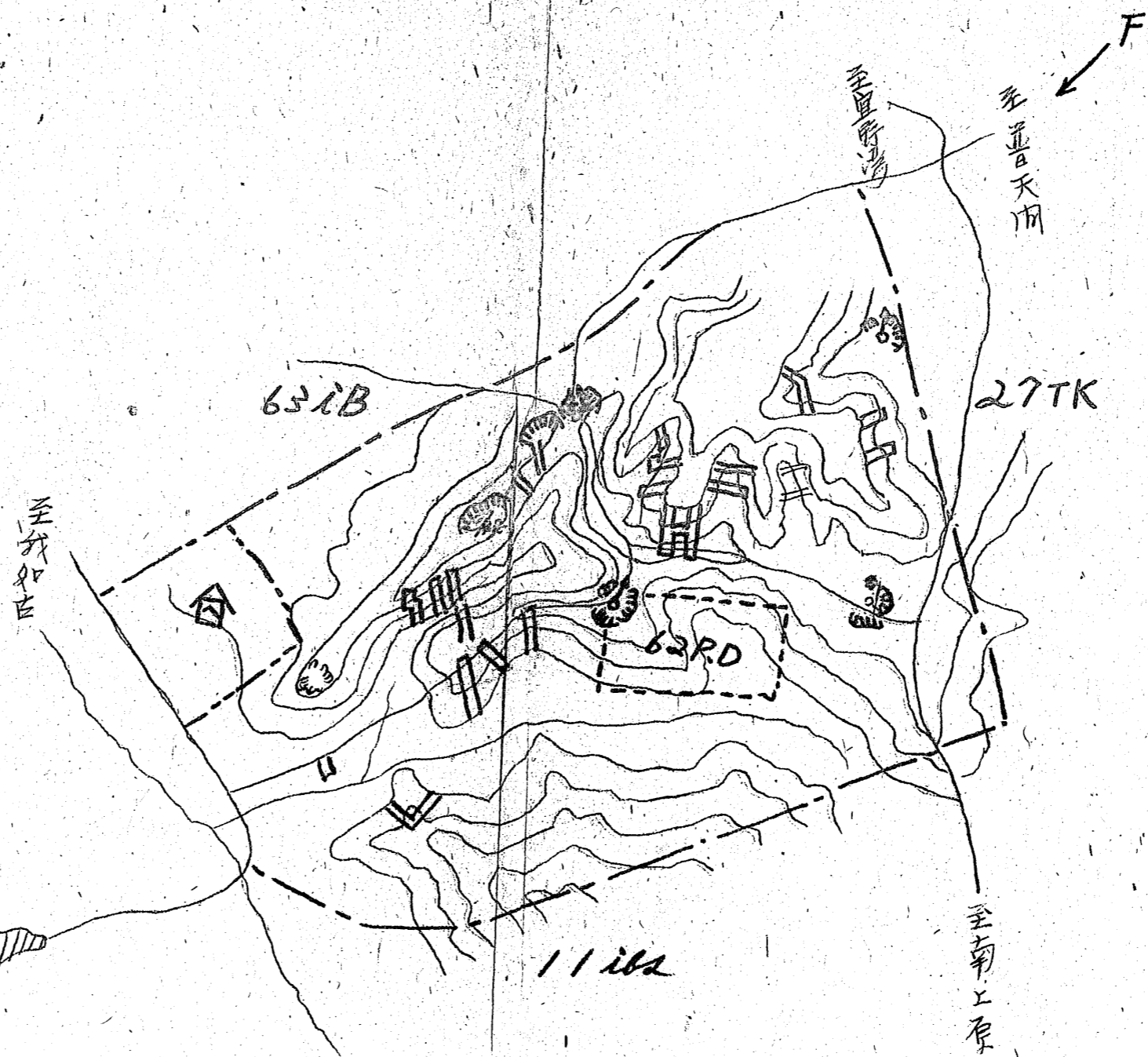


强度  
地上戰鬥陣地概不野敵陣地之重要正北受二輕掩蓋有金邊人

因要地障備豫近時原于隊重騎回師二十六第  
 (115於日三十=11=年十=和銀)

附圖多七

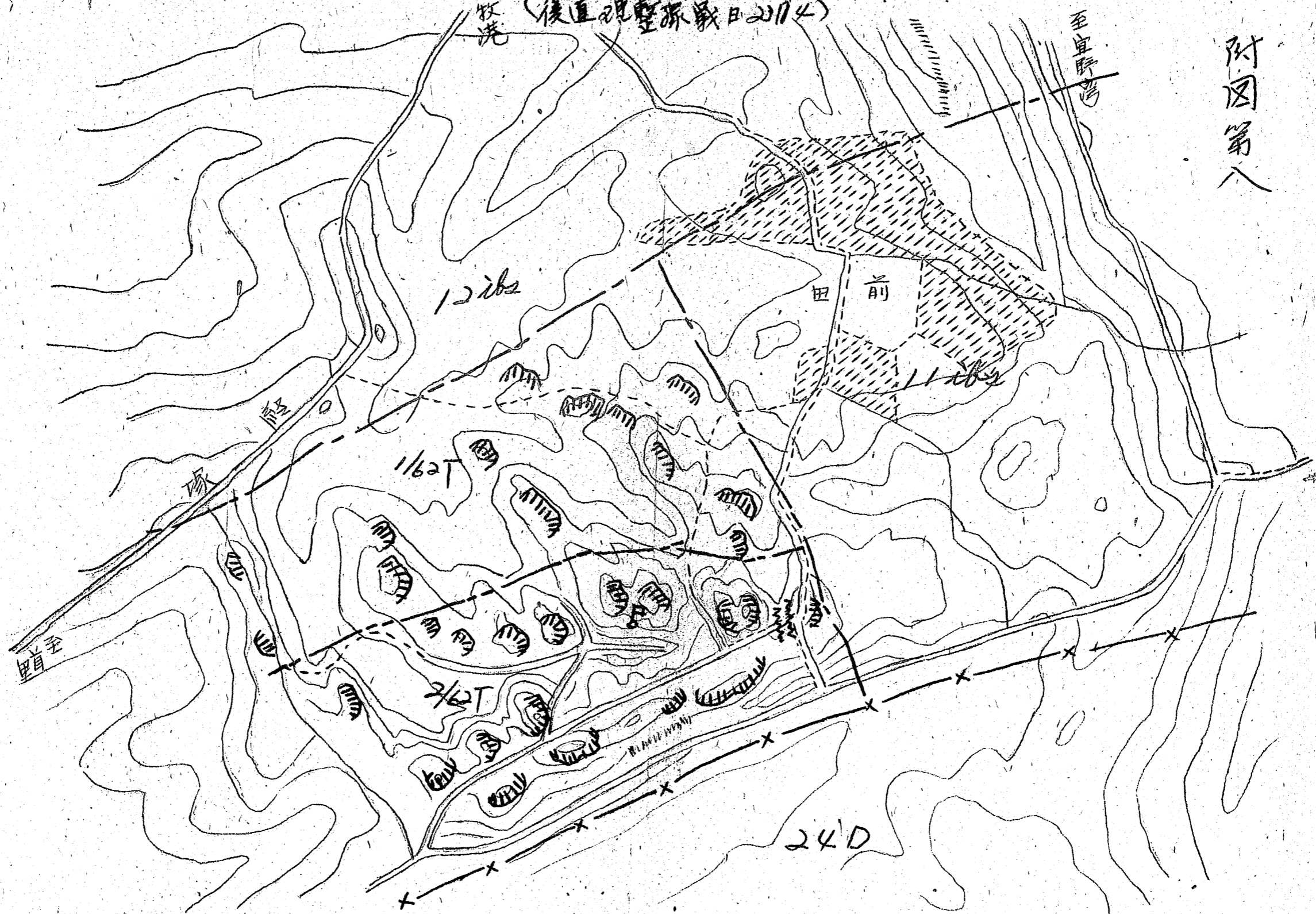
強度  
 一、自動車庫及同修理場、洞窟トシテ完成  
 人員掩蔽所ハ概テ荒蕪也  
 地上敵斗障地ハ主要トシテ穴ヲ穿テ或ハ之ヲ洞窟化ハ未ダ着手ナリ  
 戰車障碍ハ計画ノミニテ、未ダ着手ナリ  
 十二日部隊ノ豫備障地トシテ保存シテ事ハ現状程度ニ中シ



地形圖(2)



圖要備配地障隊重務團師二十六第  
(後直視整旅戰日2014)



附圖第八

兵區隊六

